

「雑司が谷・高田の七不思議」巡り 矢島勝昭

●しとしと五月雨を絞る暗雲は低く垂れ、赤土の坂道は雨水を集めて薄暗い竹やぶの中へ沈んでゆく。日本女子大寄宿舍の東・・・。「昨日の人は今日はなく、会えば別れる世のならい」哀れな巡礼歌が坂を下ってゆく。時折見かける巡礼姉妹だった。が、最近その姿が見えない。しばらくすると、「坂道を通ったら背中からすすり泣きする妹の巡礼が寄ってきた」という噂がたち、人々は恐れて日が暮れるとこの坂を迂回するようになったとか。あるとき「姉の巡礼の墓を見た」という者が現れた。「姉妹は死んだらしい」「妹には墓がないらしい」。人々は哀れみ、妹の墓も建てて吊ったところ、以来亡霊は出なくなったという。

●その坂を下りきると弦巻通り。左折して130メートルほどの清土鬼子母神脇の路地を抜けると不忍通り。横断歩道を渡り薬缶坂をたどれば目白通りへ当たる。通りの南側は公務員グラウンドの広い原。むかし、見知らぬ一人の僧がやってきて穴を掘り棺を入れ、自も入り座禅を組んだ。人々は高僧の入滅と察して手を合わせて拝

み賽銭を投げ入れた。が、数日後僧は賽銭をかき集め夜陰に乗じて姿をくらし人々を悔しからせた。以来この辺は入寂原と呼ばれるようになり、やがて家も建ち並び、中でも酒を売り馬糞を集めて商った伊勢屋孫兵衛は大繁盛したという。

●入寂原から約400メートル西、豊明小学校付近はむかし大岡主膳正の広い屋敷で、道を隔てた向かいには組紐屋があった。最近この店の屋根に毎日沢山の石が降ってくるので大評判。遠くから見物にくる者もいる。やがて石は大岡屋敷から激しく飛んで来ることが分かり、五月雨が止んだある夕暮、見物人を分けて一人の若者が「中を見てくる」と言ってくぐり戸から屋敷内へ入った。若者の目に入ったのは、裏庭の一角に積まれた小石の山と数匹の古だぬき。投石は人間を脅そうとする古だぬきの悪戯とみえたが、若者を見るとすぐ身を隠し、以来投石はなくなったという。

●大岡屋敷からさらに300メートルほど西へ行くと根生院がある。むかし、その辺は徳川御三卿田安家の広い屋敷で、邸内には多くの狐狸が棲んでいた。年に三回、陣笠を被った鉄砲隊の練習があり、狐狸たちはその音に恐れ驚いて庭中あばれ回る始末。そのため殿の命で狐狸を征伐することとなった。やがて大砲方の西原という侍が古狸を生け捕って殿の御前に差し出し褒美を頂いた。ところが西原の妻はその後狸のまねをして腹をたたいたり、飛び跳ねたり、ついに狂い死にってしまったという。西原は恐れをなして引きこもっていたが、やがて行方知れずになってしまったという。

●根生院から約200メートル南に南蔵院がある。絵師の狩野朱信は院の依頼で天井に牡竜・雌竜を描いていた。ところが朱信の妻が弟子と密通し、しかも発覚をおそれ神田川の田島橋へ朱信を誘き出し、川へ投げ込んで殺してしまった。天井絵の牡竜は眼が未完成だった。朱信の怨念は亡霊となって夜な夜な現れ天井へ筆をはしらせ、やがて牡竜を完成させたという。その眼光は凄まじく、その色も尋常ではなかったという。だが、火災でこの因縁の牡竜・雌竜の天井画も焼け失せ、杉戸に描かれた下絵も、もはや煤けて真っ黒、再び見ることがかなわなかったという。(高田町史より)

きりとり

■紙面の都合で五不思議となりました。ご容赦ください。残りは機会をみて掲載します。

料金受取人払

豊島局承認

4442

(受取人)

豊島区東池袋1-18-1

豊島区都市整備部
住環境整備課
住環境第二係 宛

1708710

差出有効期間
平成18年11月
30日まで
(切手を貼らずに
お出ください)

●企画/発行
池袋南地区まちづくりの会
豊島区都市整備部住環境整備課
電話 直通3981-2612 片山/増田/和久井

●編集協力
株式会社 防災アソド都市づくり計画室
電話 03-3378-1960 吉川/小野

ぞうしがや

楽しく学び備える



4年めをむかえ、すっかりおなじみになってきた防災まちづくりイベントは、誰でもが楽しみながら学ぶことができる防災訓練です。こういう試みは、毎年、毎年繰り返しながらやるのが大切です。去年やったからと言っても、もう忘れていくかもしれません。今年もやれば、皆さんの体が自然に覚えてくれるでしょう。

いつ来るかもしれない大地震に備えて、楽しく学ぶ。是非、ご家族で、ご近所でお誘いあわせの上ご参加ください。

第4回 防災まちづくりイベント

日時：11月5日(日)
11:00 ~ 14:00

場所：南池袋小学校

●防災スタンプラリー

- ◇煙体験 ◇水消火器
- ◇ミニポンプ放水体験
- ◇パネル展示 ◇ひろばの名前投票

●お楽しみコーナー

- ◇かざぐるま ◇紙芝居 ◇雑司が谷いろはかるた
- ◇木工教室 ◇輪投げ ◇住まいの相談
- ◇テクノポップ

●食べ物

- ◇焼きそば ◇ポップコーン ◇ソース煎餅

●主催：池袋南地区まちづくりの会
雑司が谷地区まちづくり協議会
南池袋一丁目町会、南池袋二三四町会、光和会
池袋東口親和町会、青葉会、雑司が谷一丁目町会
雑司が谷一丁目東部町会、柳下会、雑司が谷二丁目町会
雑司が谷三丁目町会、南池袋東通り商店会(順不同)

●協力：豊島消防署、豊島消防団、南池袋小学校
南池袋小学校PTA、東京音楽大学、設計豊島協同組合

●事務局：豊島区都市整備部住環境整備課

雨天決行

花紙プレゼント

ひろばの設計が終わり・工事へ

区へ提案

池袋南地区まちづくりの会と南池袋保育園跡地について考える会では南池袋保育園跡地のひろばの計画について、4月26日、豊島区へ提言書を提出しました。

提言書には、ひろばの災害時の位置づけや利用方法、普段の使い勝手や管理についてなど、住民の立場からの要望がとりまとめられています。また、区が設計を行なう時にも、会の案を尊重することはもちろん、設計途中にも意見交換会を行い、その経過を見守りたいとの希望が表明されています。

設計に着手

区では提言書をもとに設計にとりかかれました。小さなひろばとはいえ、敷地内には既存建物があり高低差もあります。敷地の周辺も住宅やいろいろな施設もあります。それらの現況をよく調べることから作業ははじまりました。

その上で、会からの要望が実現できるか、問題点は何か、それを解決するにはどのような方法があるかなどを検討しました。

区の検討結果

このような作業を経て、区では基本計画案をまとめました。区では、会からの提案をほぼ踏襲しながら、次の方針をまとめました。

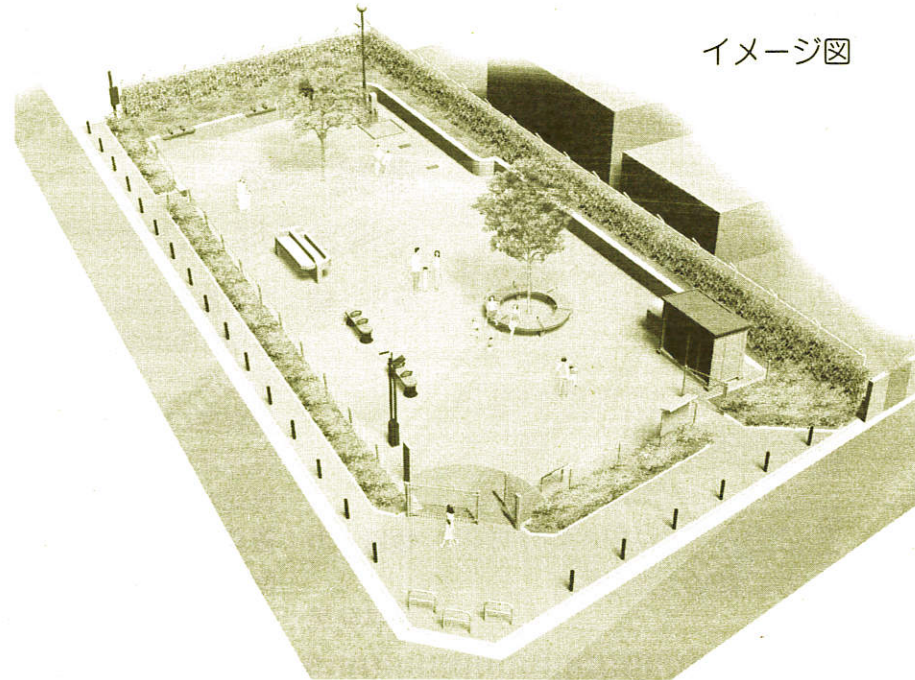
- ひろば整備について
- ◇ひろば内は、ほぼ平坦にする
- ◇ひろばの舗装は土系の雨水が浸透する舗装
- ◇樹木はシラカシとホソバタイサンボクを植樹
- ◇民地側の生垣はベニカナメモチを植樹
- ◇道路側の植え込みにはツツジ

- やコデマリなど背の低いものを植樹
- 施設の設置について
- ◇調理台と井戸を設置
- ◇照明等は2基設置し、1台はソーラーを設置
- ◇園名柱、制札板、掲示板を設置
- ◇かまどベンチは既製品を2基設置する
- 一方、次の箇所で提言書とは異なった方針が示されました。
- 施設整備について
- ◇西側の道路に面して歩行者空間を確保
- ◇管理用倉庫は南側の道路際
- ◇非常用トイレは敷地の東側に設置
- ◇東南にも入口を設置
- ◇ゴミ集積箱の設置

会との意見交換会

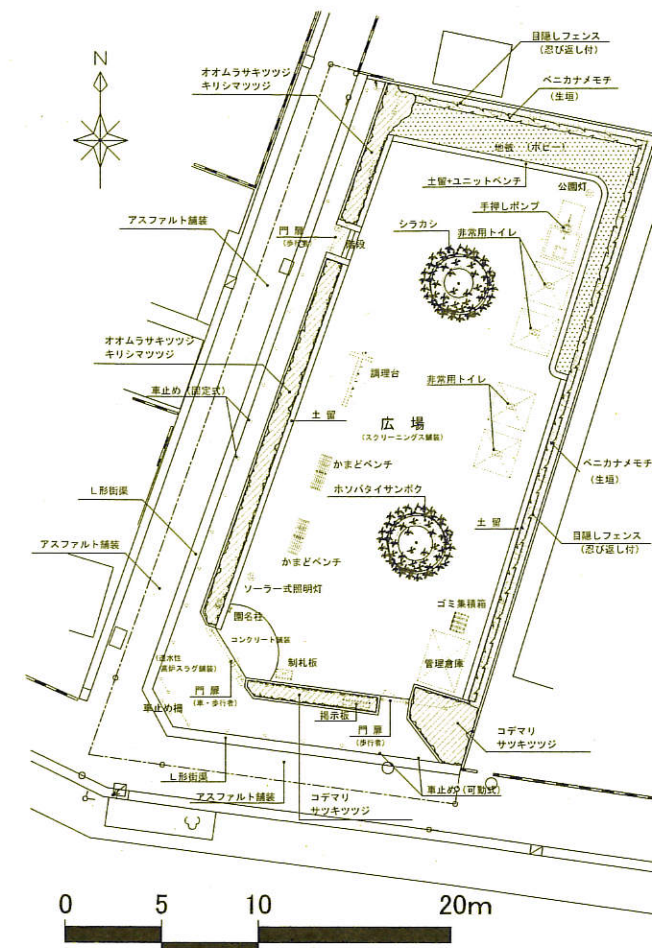
2つの会では、出来上がった基本計画案について、区から説明を受け、意見を交換しました。特に、提言書と異なる部分について、話し合いました。その結果、次のことが決定されました。

- 調理台……災害時に利用するだけとし、蛇口は着脱式にする。
- 炊き出しベンチ……燃焼効率がよい丸型の鉄製既製品とする。



イメージ図

南池袋保育園跡地ひろば計画案



0 5 10 20m

あなたが広場の名づけ親 広場の名前募集

新しくできる広場の名前を募集します。是非ご参加ください。

●応募のしかた

右のはがきを切り取ってご利用ください。防災まちづくりの会で案を用意しました。その中からお選びいただくか、自由につけていただいても結構です。

●名前の決め方

応募いただいた名前は、防災まちづくりイベントで発表し、その場でも投票していただきます。応募の結果を参考にして、防災まちづくりの会で協議して決定します。

●締切 平成18年10月31日(当日消印有効)

- 出入口と錠や鍵……入りやすさを考えて3箇所とする。
- 防災倉庫……搬入搬出を考慮して道路の近くに設置する。死角ができないように配慮する。また、予算的にはプレファブ倉庫となるが景観を考慮して色を選定する。
- 歩道状空地……西側に1m、南側に2mの歩道状空地を確保する。L型側溝は切り下げとして歩きやすくする。
- 照明……夜間利用の時間などを考慮して明るさや配置を考える。夜間は原則的に利用しないが、一定の明るさは確保する。

工事は1月からの予定

ひろばの設計は最後のまとめに入っており、準備が出来ると着工となります。今のところ、1月に着工して、3月末には完成する予定です。

工事中は、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

広場の名前応募用紙

1つに○をつけてください。その他の場合は名前をお書きください。

- ①南池ふくろうひろば
- ②御堂杉防災ひろば
- ③南池袋広場
- ④みないけ防災ひろば
- ⑤南池袋みんなの広場

その他 ()